

幻の「大屋納豆」令和に復活



ぐるっと
さ・か・え

今回は長野県から昨年帰郷し、納豆製造販売の株式会社「キツ商会」を起業された阿部久和さん（大屋新町）取材してきました。社会福祉士と発酵食品マイスターの資格を持つ阿部さんは長野県の福祉施設で働いていた経験から、故郷の地域活性化と障害者の雇用確保を目指したいと以前から考えていました。

1930年前後に大屋地区の農家で作られていた「大屋納豆」。曾祖母のキツさんは納豆づくりの名人で有名でした。その味が大変評判だったことから、阿部さんはその味を復活させて起業することを決断したそうです。



絹のような糸を引く大粒の納豆が魅力です。



株式会社キツ商会 代表 阿部久和氏

昔ながらの天然菌でのわら納豆をつくるにあたり、情報収集をしたり地元の阿部平治さん（鬼嵐）や戸田義昭さん（寺内）から昔の製造方法を指導して頂いたそうです。現在はその製造過程のわらの作業を障害者施設に依頼しており、その作業が今後も継続していくことを期待していました。

商品名は「秋田の大屋納豆」。受注生産、ネット限定販売で行っています。昔ながらの曾祖母の味を再現し、それを地域の活性化につなげたいと考える阿部さんの熱い思いが感じられた取材でした。商品等詳しくは「キツ商会」のホームページでご確認ください。

【3月の予定】

らくらく健康体操教室

3月2日（火）

午前10時～11時

内容 / らくらく体操

次年度計画について



【栄公民館よりお願い】

公民館窓口における各種お支払いの際は、出来るだけお釣りの無いようご準備・ご協力願います。

※高額のお釣りは準備しておりませんので、何卒ご了承ください。



絵手紙サークル

IT社会の現代、自分の気持ちを素直に表現し相手に伝える手作りの「絵手紙」が最近注目されています。ハガキを受け取った側も、一筆一筆丁寧に書かれた手紙に心が温かくなり、幸せな気持ちにさせられます。さかえ館を会場に毎月第1・第3金曜日の午後に活動している「絵手紙サー

クル」の会員の皆さんも、毎回心のこもった味のある作品を描いています。一枚のハガキに込めた絵や文章は、季節感があり人の心を癒してくれる優しさがあります。

平成16年に設立されたサークルは、毎回会員の皆さん同士が交流し合い雑談を交えながら活動されていて、とても自然体でいられる素敵な雰囲気でした。

サークル見学希望の方は栄公民館（☎33-5320）までご連絡ください。



2月の風景

毎年2月15・16日に開催されている横手の冬の伝統行事「かまくら」。今年はコロナ禍の為、おまつりが中止となりました。そんな中、さかえ館の正面玄関横にかまくらが2基完成しました。このかまくらは、市内のスポーツ少年団からの依頼によりかまくら職人が作り上げたものです。根気のいる作業も職人ならではの手の良さで瞬く間に完成しました。2月13日の夜には明かりが灯され、子ども達が入り甘酒やお餅を焼いて楽しく過ごしました。こんな時だからこそ地元の行事を改めて見つめ直す良い機会になりました。



かまくら職人ならではの精巧な作業です。